

## 第6回北谷町地域公共交通会議議事録

1 開催年月日：平成29年12月27日（水）

2 会議時刻：10時00分から

3 会議場所：北谷町役場3階庁議室

### 4 出席委員

- |              |                          |
|--------------|--------------------------|
| (1) 神山 正勝    | 北谷町副町長                   |
| (2) 神谷 大介    | 琉球大学工学部工学科准教授            |
| (3) 西倉 浩     | 内閣府沖縄総合事務局運輸部陸上交通課長      |
| (4) 伊志嶺 友浩   | 内閣府沖縄総合事務局運輸部企画室長補佐※代理出席 |
| (5) 下地 博明    | 内閣府沖縄総合事務局南部国道事務所副所長     |
| (6) 大城 太     | 沖縄県中部土木事務所技術総括           |
| (7) 赤嶺 正和    | 沖縄県警察沖縄警察署交通対策課規制係※代理出席  |
| (8) 名嘉山 敬雄   | 沖縄バス株式会社運輸部業務課長          |
| (9) 仲間 直克    | 琉球バス交通株式会社 業務課係長         |
| (10) 慶田 佳春   | 一般社団法人沖縄県バス協会専務理事        |
| (11) 喜屋武 悟   | 私鉄沖縄県労働組合連合会執行委員長        |
| (12) 米須 義明   | 北谷町商工会会長                 |
| (13) 宮城 諭    | 北谷町観光協会副会長※代理出席          |
| (14) 玉城 清松   | 北谷町老人クラブ連合会議長            |
| (15) 津嘉山 えり子 | 北谷町自治議長連絡協議会議長           |
| (16) 岡村 悦子   | 北谷町美浜区自治会区長              |

### 5 欠席委員

- |           |                          |
|-----------|--------------------------|
| (1) 東江 一成 | 沖東交通事業協同組合代表理事           |
| (2) 大城 幸和 | 那覇バス株式会社業務部次長            |
| (3) 津波古 修 | 一般社団法人沖縄県ハイヤー・タクシー協会事務局長 |

### 6 事務局

(1) 北谷町役場

- ①仲松 明 企画財政課長
- ②勢理客 一之 企画調整係長
- ③田仲 康人 企画財政課主任主事

(2) ランドブレイン株式会社

- ①瀬戸 慎一 公民連携グループ主任
- ②東 満伸 沖縄事務所所長
- ③尾池 大祐 研究員

7 説明又は意見を求めるために出席した者：なし

8 傍聴人：0名

9 議 題

- (1) 北谷町コミュニティバス運行開始式典（実施報告）
- (2) 北谷町コミュニティバスの利用状況等の検証・分析結果（中間報告）
- (3) 北谷町コミュニティバス意識調査結果（報告）
- (4) 北谷町コミュニティバス H30 ルートの運行計画（案）について

10 会議資料

- (1) 第6回北谷町地域公共交通会議次第
- (2) 座席配置図
- (3) 第5回北谷町地域公共交通会議議事要旨
- (4) コミュニティバス（C-BUS）運行開始式典【資料1】
- (5) コミュニティバス（C-BUS）利用状況等の検証・分析【資料2】
- (6) コミュニティバス意識調査結果【資料3】
- (7) 平成30年度コミュニティバスルート（案）等について【資料4】
- (8) 平成29年度～30年度コミュニティバス導入検討事業スケジュール（予定）【資料5】

11 会議内容

司会：	1. 開会 2. 会長及び副会長の選出（2期） 会長に神山副町長、副会長に琉球大学工学部工学科神谷准教授に決定。
議長：	3. 本会議の経緯及び趣旨説明 皆さん、おはようございます。第2期の会長に選任頂きましてありがとうございます。神谷先生と一緒に会長、副会長という役を授かりました。

	<p>これからも、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。</p> <p>本日、公共交通会議第6回となりますが、年度末に会議を開催することに大変恐縮にはございますが、スケジュールの都合上設定させていただきました。そして皆さんには、お忙しい中、ご出席いただきまして大変感謝を申し上げます。ありがとうございます。</p> <p>只今から、第6回北谷町地域公共交通会議を行います。まず、事務局から会議の成立要件について報告をしていただきたいと思います。</p> <p>事務局： 今回、議員 19 名中 16 名が出席しておりますので会議の成立を宣言したいと思います。</p> <p>議長： 只今、事務局から北谷町地域公共交通会議設置要綱第 6 条 2 項の規定により本会議は成立しているとの報告がありました。次に会議録署名委員の指名をさせていただきたいと思います。本日の会議録署名委員は津嘉山委員にお願いしたいと思います。宜しいでしょうか。</p> <p>～異議なし～</p> <p>それでは津嘉山委員に議事録署名員をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p> <p>それではこれから議題に入っていきたいと思います。最初に本日の会議の趣旨説明とこれまでの経緯について事務局から報告をお願いいたします。</p> <p>事務局： 本会議の経緯及び趣旨説明</p> <p>議長： ただ今、事務局から本日の会議の趣旨とこれまでの経緯の報告がございました。報告にありましたように、コミュニティバスはこれまでの皆様のご協力がありまして、無事に 6 月 19 日にスタートすることができました。スタートから半年間経っておりまして、アンケート調査の結果をこれから報告することになります。そして本日の会議の趣旨につきましては、報告事項が 3 点ありまして、ルート変更がございます。このルート変更については皆様にお伺いして、決定して頂きます。それでは早速、議事に入っていきたいと思います。まずは 1 つ目の北谷町コミュニティバス運行開始式典の報告について事務局からお願いいたします。</p> <p>4. 議題</p> <p>事務局： 議題（1）北谷町コミュニティバス運行開始式典（実施報告）について説明</p> <p>議長： ただ今、コミュニティバス運行開始式典についての報告がございましたがよろしいでしょうか。</p> <p>次の報告をお願いしたいと思います。次は、北谷町コミュニティバスの利用状況等の検証・分析結果について報告をお願いしたいと思います。</p>
--	---

事務局：	議題（２）北谷町コミュニティバスの利用状況の検証・分析結果についてと議題（３）北谷町コミュニティバス意識調査結果（報告）について説明
議長：	ただ今、事務局から北谷町コミュニティバスの利用状況についての検証と分析の報告ならびに北谷町コミュニティバスの意識調査結果についての報告がありました。利用状況等につきましては、当初想定していた利用状況を大きく下回ってございます。また、意識調査やアンケート調査については、いろいろな改善点があります。まだしかし、運行開始して半年ということで、どういうふうに取り扱うかということについては、事務局でいろいろ検討されていると思います。ただ今報告がございました２点について、なにか質疑等ご意見等ございましたらお願いしたいと思います。
委員：	ホテル等の周知という話がありましたが、今はホテル等の周知はされているのですか。広報はやっているみたいですが、それ以外の周知は何をされているか教えてください。
事務局：	パンフレットがお手元にありますように、こちらの他に英語と韓国語中国語をホテルのフロントに周って周知をお願いしています。
委員：	ポスター等はないのか。
事務局：	ポスターについてはホテル等には配っていない。公共施設や学校等にお配りしています。
委員：	通院・通学が少なかったと報告がありましたが、病院が開く時間帯に対してダイヤはあるのか。バス停と病院の位置があっているのか。北谷高校の始業時間にダイヤはどうなっているのか。要するに病院や高校の始まる時間に対してダイヤはどうなっているのか。北谷高校にゼロ校時はありますか。
事務局：	無いと思います。１校時からです。
委員：	１校時は８時１５分や８時３０分頃ですか。
事務局：	登校時刻は８時５０分と聞いています。それまでに教室に入ることになっている。
委員：	部活に入っている人は７時前後に登校している。
事務局：	通学路圏について、実証実験ではケアしていない部分が多くあります。今年度の実証運行では、高校に通学することを考えておらず、バス停を高校の前に設置していなかった。次年度に向けて見直す中で、バス停を高校の前に設置して、始業に間に合うようにダイヤ変更をするという方向で提案させていただきたいと考えています。
委員：	病院はどうでしょうか。
事務局：	町内の病院については、ルートマップの右上の方に、北谷町老人福祉セン

	<p>ターや北谷病院、北上中央病院があります。こちらの方に高齢者の方から「通院で使えるのか。」とお問い合わせがありました。その場合は上勢頭公民館前を利用されて下さいとお話しをしたところ、「少し距離があるんですね。」との印象の回答を電話等で受けました。またルートマップにはのっていませんが、役場の真向かいにも内科と整形外科があります。こちらの方に通院されている方については、是非利用したいとお声を聞いております。</p>
委員：	<p>アンケートの中で、スマートフォン等で運行状況を提供するとありましたが、定時制が確保されていなければいけないのではないかと思います。遅延率等はどうなっているのか。</p>
事務局：	<p>遅延に関するデータは持ち合わせていませんが、基本的に運行のスタイルとして、早発を絶対に起こしてはいけないというスタンスで少し遅れ気味で通過するように運用しています。</p>
委員：	<p>地域の会合で言っていたお話ですが、20分近く遅れていたと聞いた。</p>
議長：	<p>交通混雑等の理由があると思いますが、ダイヤの時間帯はある程度守られているのですか。それともかなり遅れているのですか。</p>
事務局：	<p>お声を聞く限りでは、遅延についてはほとんど受けておりません。5分ぐらい遅れたと1件ありました。</p>
委員：	<p>ドライブレコーダーやGPSのロガー等は付けていないのですか。</p>
事務局：	<p>付けていません。</p>
委員：	<p>事故の観点からも付けておいた方が良いと思います。雨の日やイベントの時に遅れているのか等をチェックする為にロガーで撮られたほうがいいのかと思います。</p>
委員：	<p>停留所にお客さんが見えない場合、一度も止まらず行ってしまう。老人福祉センターを見ていると、お客さんがいない時にバスは待ち時間無く行ってしまう。トイレに行って帰ってくる人もいる。3分や5分待つことはないのか。</p>
事務局：	<p>基本的には、路線バスと同じように運行している。</p>
委員：	<p>バス停に貼ってある時刻表は文字が小さくて見えない。老人福祉センター前もお年寄りが利用するので虫眼鏡が無いと見えない。読めないから何時にどこに行くのか、あるいはどこを通るのか見えないから利用のしようがないので検討して頂きたい。</p>
議長：	<p>今の内容について検討することやどのような対応をするのか何か考えていることはありますか。</p>
事務局：	<p>6月の運行開始の時は、地図と時刻表を載せて情報を詰め込んで貼らせてもらったのですが、ある程度浸透したと思いますので、時刻表を普通の</p>

	<p>バス停みたいに、このバス停に何時にくるのかを強調するように改善したいと思います。</p>
委員：	<p>バス停の標識については道路と平行ではなく直角に置く等の改善は可能であるのではないですか。町道については、片面は路線をめいっばい使うような形で設置すればいいのではないのでしょうか。収支率は 20%の予定が 7%ですか。これは期間も短いですが、経費はどれくらいなのかバスの収支を整理していただきたい。</p>
事務局：	<p>バス停の置き方について検討させていただきます。</p>
委員：	<p>バス協会としても歩道幅員がある道路については、県道や国道に対して直角に設置できないかと以前からお願いをしています。何か所か認められた場所があります。そこは両面使えますので、町が率先して直角で利用していただきたい。</p>
事務局：	<p>収支につきましては、次年度が実証実験の最終年度になっていますので、年度末の収支率をみながら運行を検討していくことになります。</p>
議長：	<p>バス停に関するご意見等については検討するということで、収支については実証実験中ですが大きなポイントではありますので、その改善については、ただ今のご意見やアンケート調査の結果等を踏まえながら事務局で改善に向けて検討するという事です。</p>
委員：	<p>バス停が雑草に隠れて見えない場所がある。のぼりを立てた方がいいのではないか。</p>
事務局：	<p>道路係とも連携して確認します。</p>
委員：	<p>アンケートを基にして時間の変更は考えていますか。美浜区で利用するのは高齢者が多い。高齢者が利用するのはニライセンターと老人福祉センターですが、そこで開催されるのは基本的に 2 時からの式典や会合が多い。1 時台が無く、12 時と 2 時のルートになっていると思います。ここを 1 時台に変更して頂けるとありがたいです。2 時からのスタートなのに 12 時 40 分くらいにしか着かないので、1 時間 20 分待たないといけないと話している人が多かった。そこを変更して欲しいと要望がありました。あとバス停についてですが、冬はまだ良いが夏の暑い日には、公民館で待つ人がいます。バス停に少しも止まらないので過ぎてしまい乗れないことが何度かあり、職員が送り迎えをしたことがある。公民館の目の前にバス停があるので、少し待つことも必要だと思います。ダイヤの関係もあるので、一概に何分待ちましようとは言えないところはあると思いますが、必要なことではないのでしょうか。お年寄りなので、歩くスピードも遅いので、外に出ていくと出てしまっていることもあると思います。</p>
事務局：	<p>老人センターの件につきましては、施設のポイントで時刻を上手く合わ</p>

	<p>せることができれば一番良いことだと思います。</p>
委員：	<p>ニライセンターや老人福祉センターは、朝 10 時から 11 時半まで、午後は 2 時から 4 時半まで、通常のお年寄りが遊ぶ時間です。</p>
事務局：	<p>ダイヤは修正しているところで、まだ修正可能ですので時間を合わせられるのか検討したいと思います。</p>
議長：	<p>ダイヤの件につきましては、運行によっては時間を合わせるのは大変難しいかもしれませんが、しかしながら、先ほど神谷委員から学校や病院等の時間についてありましたように利用者の時間を検討事項としていただいた。ダイヤを合わせるのは難しいと思いますが、配慮しながら検討していただきたい。あと、止まらないで行ってしまうことについては、来ましたよと相図ぐらいはなんとかできる方法はないか。音楽を鳴らす等、バスが来たことを知らせることを検討してみてもどうか。</p>
委員：	<p>観光客の利便性向上について、マリナクティビティを利用するお客様がいらっしゃる場合に 300 ビートエンジン付きの駆動系ができませんので、ほとんどサンセットビーチに行っていない。そういったアラハビーチまでの路線を考えていただければいいのかと思います。</p>
事務局：	<p>今ご提案がありましたように、宿泊施設の事業者からも意見を頂いておりまして、西海岸のアラハビーチまで往復できる便を作ってもらえると宿泊施設の方もお客さんに積極的にアピールできるという意見がございました。ただ、便を追加するとなると予算がかかってしまいますので、検討しまして、次年度以降に報告させていただきます。</p>
委員：	<p>観光客のお話がありましたが、美浜でバスツアーを組みました。西海岸は良く分かりますが、東の方に行く時に私たち自身もどこのバス停なのか地名なのかあまり分からなくて、地図を見ながら進めて行きました。次は何処に止まるのかバス停の告知をお話ししてもらえると、観光客や町外の人たちに分かりやすいと思います。今は乗り降りのチャイムだけです、「次はどこどこですよ。どこどこに行きたい方はここで降りてください。」とアナウンスして欲しい。バスの運転手さんに少し聞きましたが町内の方ではありませんので、意思の疎通がうまくいかなくてどこで降りればいいのか分からないことが何度かあった。行く場所だけではなくて、町内を巡ってみたい人も何人かいましてツアーを組みましたが、どこで降りたらいいのか分からないことがあった。経費が掛かるとは思いますがチャイムを鳴らしながら次はどこですよという告知を、観光客を中心とする考えもあるのであれば、取り入れたらいいのではないのでしょうか。</p>
議長：	<p>ただ今の意見については大変貴重な意見だと思いますので、一度検討するようにお願い致します。それでは報告事項でございましたので以上で報</p>

	告を終わりたいと思います。次の議題、北谷町コミュニティバス H30 ルートの運行計画（案）についてということで、事務局から説明をよろしくお願いします。
事務局：	議題（４）北谷町コミュニティバス H30 ルートの運行計画について説明
議長：	ただ今、北谷町コミュニティバス H30 ルートの運行計画（案）について説明がございましたが、資料４にありますように資料の１番の北、南コースの変更案についてと併せまして２番のダイヤの変更について、３番の運賃等について説明がございました。コース変更案につきましては、役場の近くから上に上がる道路が工事の関係で通行止めになります。その関係でルートを変更したいという提案でございます。２番のダイヤにつきましては、乗り継ぎの要望が多いので乗り継ぎのポイントを設定するという事です。３番目の運賃につきましては、乗り継ぐ際に運賃が負担にならないようにしていきたいというのが１点目、回数券を発行したいというのが２点目です。この３点につきまして説明がございました。皆様方のご質疑ご意見等がございましたらお願い致します。
委員：	工事関係のコース変更ということで、利用者に周知して、また工事後はどのようなになるのかも周知して、利用者離れが起こらないようにして頂きたい。
事務局：	周知徹底していきたいと思います。
委員：	工事期間はいつからいつまでですか。
事務局：	土木課道路係から聞いていますが、早くて４月中旬頃から車両が通行止めになりまして、その後最低１０ヵ月ぐらいは通行止めになるだろうという話でした。
委員：	便数を増やして欲しいのに、便数を減らして所要時間が伸びているというのは迂回するから伸びるということですか。仕方がないことですか。
事務局：	はい。そうです。
委員：	いつから路線変更するのですか。
事務局：	通行止めのタイミングで切り替えたいと考えています。
委員：	周知期間を考えると１ヵ月ぐらいは必要である。開通したら元に戻すのか、戻さないのか。「工事の為、変更します。」という表現は工事が終われば元に戻すという表現ですが、今回の変更は戻すことを前提なのですか。
事務局：	元に戻すことを前提にしている。ただし、全く同じコースに戻すのではなく、今は北谷高校を通過していませんので、北谷高校を通るルートに変更しようと考えています。
委員：	言葉の表現を考えたほうが良いと思います。ニライセンター、老人福祉



	<p>センター、北谷高校と時間をみると、福祉センターは8時半前と10時半ぐらいに、ここは時間を考えるという理解でよろしいですか。それともこのダイヤですか。先ほど、10時スタートと14時スタートの話と、高校が8時50分始業の話がありました但変更は考えますか。</p>
<p>事務局：</p>	<p>ダイヤについて配慮できるように運行会社と再考します。</p>
<p>委員：</p>	<p>各市町村の地域協議会をやりますが、地域住民の方がこのように発言できる協議会は少ないです。地域の公共交通の話ですので地域住民の方がどのような行動をしているのか、その行動に合わせる為の公共交通機関であるべきだといつも思っています。そのような話をしっかりと聞いて反映させて欲しいと思います。資料を見ると町民の方にアンケートをしています。利用者については実際に調査してヒアリングしているということですが、やはり生の声を聞いて欲しいです。先ほどの意見は生の声で、アンケートには出てこないようなお話が今日は聞けたと思います。それは、ルートや時間など、地域住民の方々の意見を聞いて検討していくのが一番良いと思います。認知度については9割ぐらいありますが、実際は使われていない印象です。使わない理由として、自家用車やバイクを使うことが多いですが、こういった方々がどうすればバスを利用するのか、そういった人に聞かないと分からないと思います。地域住民が集まる老人会や公民館に行ってみれば、乗っていない人が乗るようになるのかの意見を聞いた方が良いと思います。</p>
<p>議長：</p>	<p>ただ今のご意見について、ダイヤの対応の話でありますので、これについては柔軟に先ほどの意見を踏まえて検討するという理解をしています。確かに難しいかもしれませんが、そういう声があるということで真摯に受け止めて事務局は検討して下さい。また、先ほどのご意見がございましたけれども、本当に使っている方の生の声をどう拾っていくかについても、ただ今のご意見を受け止めて検討して頂きたいと思います。</p>
<p>委員：</p>	<p>乗り継ぎの話をされていましたが乗り継ぎポイントはどこになるのですか。</p>
<p>事務局：</p>	<p>観光情報センターにしている。起終点ではダイヤが乱れにくいということで、ここについては町としても観光情報センターが乗り継ぎポイントと周知できると考えています。その他のポイントでも何か所か乗り継ぎできるようになっていますが、そちらの方で乗り換えできますと大々的にしますと、乗り継ぎができないトラブルが起こる可能性がありますので、起終点を乗り継ぎポイントとして促していきたいと思っています。</p>
<p>委員：</p>	<p>ルートは変わらないが起終点を変えているのですか。起点は観光情報センターになるのですか。</p>

事務局：	起終点を観光情報センターに設定すれば、乗り継ぎの心配することが少ないので、その方向で変更しようと考えています。バス業者と調整しながら詳細な対応を詰めていきたいと思います。
委員：	そこは道路上で乗り換えするのですか。それともどこかバスが待機する場所があるのですか。ダイヤが乱れる可能性もありますので、どこかでバスが待機しておかなければ乗り継ぎができないのではないですか。
事務局：	観光情報センター前にはバスの待機所があります。厳しければ敷地内に入ることになると思います。
委員：	乗り継ぎを主として考えるのであれば、先のダイヤが乱れてきますから、どちらかが待たなければならなくなりますので待機所をしっかりと確保する必要があります。
委員：	今の話は高齢者にとって大切な話で、目が悪い人、耳が聞こえない人、認知症の前兆がある人など、そのような方々が家で閉じこもらず室外にできるだけ出ていただきたい。買い物に行きましょう。友達に会いましょう。そうゆうところで生活の改善に繋がる。そういう意味でバスは大変有効な一つの要素になる。足も悪い人もいるので、バス停の乗り継ぎで混雑することもありますので、安全に乗り継ぎができることが大事なことだと思っています。これもひとつ検討頂きたい。
委員：	そもそも 80 分間隔が 90 分間隔になるということで利用者が減ると思います。そこで 1 時間で周るコースに変更することは検討できないのか。コースも含めて循環させることやどこかで交差する等、そのような考え方が無いのか、もしくは実証実験の中で今回はこれでやりますが、次は違うコースがある可能性があるのかどうか検討が必要ではないでしょうか。
事務局：	運行間隔が長大になっているのは否めないところではありますが、一つひとつのコースを、1 時間で周るとなりますと、おそらく乗り継ぎが肝になってくると思います。時間がかかっても乗り継ぎなしで行ける方が良いとの意見も一定数ありますので、乗り継ぎの抵抗を減らしていかないと、路線の再編は難しいと思いますので、今回は乗り継ぎを促していこうとしています。南北のルートと西側と東側のルートに分ける考え方もありますが、次年度、すぐに行うのは厳しいところですので、今回の乗り継ぎの仕組みを入れてみて、利用状況を確認しながらコースについて検討していきます。
事務局：	今後の検討の要素として大事なことだと思っています。今回のアンケートをうけて、高齢者の方に利用して頂いていますので、私たちもデマンド型を考えたのですが、今は実証期間で 6 ヶ月しか運行していませんので、抜本的なコースの変更はまだ早いとの議論もありました。外出の機会という

ことで町外の公共路線に接続して使っていただいている方もいらっしゃいます。沖縄県全体で考えなければならない公共路線。かなり依存度が高くなっている自家用車。どうやってここにコミュニティバスを通して公共交通を繋げていくのかを、県と一緒に TDM という県のアクションプログラムもありますので、公共路線にシフトしていくことを長い目でみながら、同時に高齢者の方が利用しやすいということを考えていかなければならないと思っている。ただ、今回の実証試験の期間はかなり短いので大きく変えることはできないと我々も検討しています。

議長： ご意見として確かに重要なことですが、まだ期間が短いことですので、ただ今の意見を参考にしながら、もう少し実証実験をまとめながら検討事項とさせていただきます。

委員： 基本的には高齢者や高校生等の交通弱者と呼ばれる方の足を確保することがコミュニティバスの第一原則である。通勤については路線バスが肝になる。それがあつた上でダイヤを考える必要がある。西海岸での南北線は収支を考えるとそこが入ってくると思う。例えば、ホテルに泊まっている方がアラハビーチや飲食店を利用することを考えた時には、夕方だけの便でいいのか、昼にも 1 便欲しいのか、そこは次年度の実証実験をやりながら並行で、何時ぐらいに移動のニーズがあるのか調べてはどうか。その方が収支は合ってくると思います。例えば、行きはコミバスで行ってもらって帰りはタクシーで帰るでもいいですから、観光客の移動の時間帯を調査された方が良いと思います。町民の足を確保する為の収支を合わせる為には観光客にうまく乗ってもらいましょうということ、飲食店にとっては駐車場を多く確保しなくてもバスで来てもらったほうが助かりますから。もっとダイヤを考えるのに資料 2 の 3 から 5 ページの情報のデータですが、どこで乗ってどこで降りているか分かりますか。

事務局： OD ペアまでは分からない。便ごとのバス停ごとの乗車数と降車数は分かります。何月何日の何便に何人乗ってどこで何人降りたかは分かる。

委員： ダイヤを考えると非常に少ないところもあると思います。多いところもある時間帯に偏っているのではないかと思います。この表記だと 1 日ごとになっていますので、それはもう少し細かくみた方がいいと思います。アンケートでは OD ペアは聞いていないですか。

事務局： 聞いていません。

委員： OD ペアを取るのに運転手に負荷をかけるのは大変ですので、車内カメラを付けておくと全部映っているので誰が乗って誰が下りたと分かりますから、画像解析できますので、事故防止の為にドライブレコーダーと転倒防止を含めた車内カメラを付けておくと、どこで乗ってどこで降りるの

かと時間帯の関係を見ておくと、後の分析としてダイヤを変えるときにやりやすくなる。カメラを付けるだけの話なので、これも一つの課題だと思います。

先ほどの公民館に来る前に知らせることについては、お金がかかってもやる方法としてバスロケーションシステムですが、そこまで大層にすると大変だと思いますので、一番安くしようと思いますとスマートフォンでGPSの位置情報が分かりますので、それを一台積んでおくとよい。すべてのバス停で分かる必要はないですので、公民館や老人福祉センター等がある場所だけバスがどこにいるのか分かればいい。例えば、公民館に誰かいるのであれば、その人にパスワードを教えて管理すれば公民館の中でバスがどこまで来ているのか知らせることができるようになる。どこにいるのかはアプリで見ることができるので費用負担が少なくて済むと思います。あと、資料3のアンケートのグラフに割合が書いてありますが、次からは実数を入れて下さい。

- 委員： 無人のカーツの実証実験はまだ行っているのか。
- 事務局： 無人のカーツの実証実験ではなくテストを行っている。車両のシステムを開発しているので、次年度から継続的に実証運行で人を乗せてどれぐらい需要があるのかを調べていく。実証運行は、最初は無料で行いたいと言われていた。今後はどのような形態で行っていくのかは交通事業者等と考えていく必要がある。
- 委員： アラハビーチまでいくことになっているのか。
- 事務局： 最終的にはアラハビーチまで行きたいと考えていますが、まだルートの関係上で決まっていない。
- 委員： 起終点が観光情報センターですが、砂辺北前等に変更することはないのですか。
- 事務局： また何か変化する要望や要因があると思いますので、それまでは観光情報センターとします。
- 委員： 終点するところには砂辺区公民館は閉まっていますので、運転手さんのトイレなど自治会長が気にしておりましたので、観光情報センターがいいと思います。乗り換え場所が観光情報センターになるという話でしたが、今の時点だとニライセンターで乗り換えするときにバスが来るまでクーラーがついている場所で座るように話をしている。観光情報センターが起終点になればそういう場所になるかもしれないので施設に説明をしていただきたい。
- 事務局： 観光情報センターを乗り継ぎポイントにした大きな理由としては、美浜公共駐車場の周りでいろいろ交通のノードが集まっていますので、観光バ

	<p>スやレンタカー、一般の車両も入ってきますので、公共交通の結節点の役割を持たせたいと考えています。観光情報センターも高齢者が休憩することについて話をしていますが、観光客で混んでしまうのはどうかとも思っている。情報センターとは話をしています。</p>
議長：	<p>ただ今説明がありましたルートの変更について、工事があり通行止めになるということで、提案させていただきました。それに伴いまして、ダイヤと乗り継ぎの件についていくつか提案がありました。ダイヤについては、ただ今の意見を参考にしながら検討します。乗り継ぎについても観光情報センター関連の意見がありました。基本的にただ今提案がありました運行ルート変更につきましては了承するというところでよろしいでしょうか。</p> <p>委員～了承します。～</p>
議長：	<p>ありがとうございます。ただ今、提案がありましたルートについては了承して頂きましたので決定したいと思います。それでは次にスケジュールについて説明をお願いします。</p>
事務局：	<p>次回の交通会議は H29 年度の実証運行について詳細な報告ができると思っています。3 月に開催したいと考えています。次年度については 12 月頃に実証運行も大詰めを迎えていますので、この件について本格運行の導入について議論していきたいと考えております。</p> <p>今月は、ルート改変に向けて事務手続きを進めてまいりますが、1 月の下旬頃に迂回ルートの交差点が開通後に総合事務局への許可申請を進めようと考えています。早くて 2 か月と聞いていますのでの 3 月下旬もしくは 4 月頭に許可いただければ、車両通行止めの時期に合わせてルート変更して運行を開始したいと考えております。周知期間については、広報ちゃたんの 3 月号と 4 月号に 2 回お知らせをして周知を図っていきたいと思います。新しいパンフレットも作成しまして 3 月下旬頃に配布になりますので、自治会の皆様に配布のご協力をお願いしたいと思います。</p>
議長：	<p>スケジュールについて説明がりましたが、スケジュールについてご意見はありますか。</p>
委員：	<p>広報ちゃたん 3 月号、4 月号にはダイヤを載せるのですか。公共交通会議は 3 月ですので、会議との時間も関係は大丈夫なのでしょうか。</p>
事務局：	<p>ダイヤは事務局の方で決めていくことを考えております。</p>
議長：	<p>その他に何かありますか。</p>
事務局：	<p>資料の訂正がありましたのでお知らせします。資料 2 の 2 ページの北コースと 4 ページの南コースが逆になっていますので、訂正をお願いいたします。</p>

委員：	9 ページのアンケートですが、ザ・ビーチタワー沖縄の停留所が危ないと書かれていますので対応をお願いします。
議長：	実証実験がまだ半年ではございますが、工事に伴ってルート変更することになりましたので、本日皆様に集まっていただき承認頂きました。本日の会議の中で、いろんなご意見を頂きましたので事務局の方で利用率を上げるように努めていきたいと思えます。本日は長い時間年末の忙しい時期に関わらず、ご出席いただきましてありがとうございます。それでは以上を持ちまして、本日の第 6 回北谷町地域公共交通会議を閉じたいと思えます。